

第 3 期
若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修
実施報告書

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

平成 28 年度

技術委員会

目次

1.はじめに	3
2.参加者	4
3.全体スケジュール.....	6
4.事前説明会.....	7
5.壮行会	8
5.研修.....	11
5.プレゼンテーション報告会	17
6.その他.....	25

1.はじめに

近年、アプリケーションはグローバルなクラウドプラットフォーム上で稼働することが当たり前の時代が到来しております。のみならず IoT (Internet of Things) の進展や AI (Artificial Intelligence) の進化がさらにアプリケーションを複雑化させ、多くのグローバルな要素技術にいち早く対応しなくてはならない状況となっています。このような開発環境下では英語の壁を意識することなくグローバルな観点から技術情報を取捨選択し獲得できるエンジニアの育成が急務となっております。これからのエンジニアリングの世界ではグローバルスタンダードへの対応が重要視され、オープンな環境での創造性が必要とされます。これらを受け、技術委員会では次世代のエンジニアが担うであろう未来を見据え、失敗を恐れず自発的に業務に取り組み、常にグローバルな視野から情報を精査する能力を有するエンジニアへの変化を促すための研修講座を企画しました。

研修では英語生活の中で異文化コミュニケーションや米国での多人種間でのワークスタイルを体験することで参加者の見識と体験を深める構成としました。また、米国での IT テクノロジーの最新動向についても学ぶことでエンジニアとしての教養を新しいものにも可能になります。研修のみならず、帰国後には経営層に向けた英語でのプレゼンテーション報告を行うことでエンジニアに不足しがちなプレゼンスキル向上にも役立つはずで

本企画では 1 社のみでは海外研修が実現困難な会員企業においても参加可能になるメリットだけでなく、自社以外のエンジニアとの共同生活からコミュニケーションスキルやヒューマンリレーションの形成にも貢献できるようにと考慮しました。参加を配慮していただいた企業側にも多くのメリットを提供できるものと祈念しております。エンジニアの成長の歩みを劇的に促すことは難しいですが、業界の未来を担う人材が飛躍的に成長を遂げるためのきっかけを本研修が与えられると信じております。

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
技術委員会 委員長
田中啓一

2.参加者

1) 研修参加者

10 社 24 名（順不同）

氏名	所属
阿部直幸	ジェイエムテクノロジー株式会社
河村太一	ジェイエムテクノロジー株式会社
野原武志	ジェイエムテクノロジー株式会社
安田敬司	日本事務器株式会社
藤田かおり	日本事務器株式会社
鈴木茉莉奈	日本事務器株式会社
峯友裕介	NJC ソフトウェア株式会社
小針貴大	株式会社インテリジェント ウェイブ
川岡晃	株式会社インテリジェント ウェイブ
山形陽平	株式会社インテリジェント ウェイブ
佃勇平	株式会社インテリジェント ウェイブ
山中亜由加	株式会社大和コンピューター
原健太	株式会社ネクストスケープ
三宮泰	株式会社タイムインターメディア
村上慈朗	株式会社アルゴグラフィックス
平沢裕	株式会社アルゴグラフィックス
松田真	株式会社ミクロスソフトウェア
渡邊慎司	株式会社ミクロスソフトウェア
岡新悟	株式会社フォーラムエイト
渋谷智哉	株式会社フォーラムエイト
高健	株式会社フォーラムエイト
阿部哲秀	株式会社 CRAVA
佐々木愛	株式会社 CRAVA
飯塚恭弘	株式会社コスモ・コンピューティングシステム

随員：鈴木啓紹（一般社団法人コンピュータソフトウェア協会）

2) 技術委員会：8社8名（順不同）

- 委員長：田中 啓一 [日本事務器(株) 代表取締役社長]
- 委員：山本 祥之 [インテリジェント ウェイブ 特別顧問]
- ：小屋 晋吾 [トレンドマイクロ(株) 執行役員 統合政策担当]
- ：藤井 洋一 [日本ナレッジ(株) 代表取締役社長]
- ：原山 健一 [BB ソフトサービス(株) 取締役副社長 兼 COO]
- ：大塚 柱一 [インテル(株) 執行役員 営業本部 本部長]
- ：佐野 勝大 [(株)ユビキタス 代表取締役社長]
- ：小瀬 充 [(株)ラネクシー 取締役 管理本部長 兼 新潟開発センター担当]

3) 研修事業者

- －(株)コスモ・コンピューティングシステム
- －Cosmo ITS .Inc

3.全体スケジュール

スケジュール			
年	月	日	実施イベント
2016	7	29 (金)	参加者募集開始
	9	16 (金)	参加者募集締切
	10	7 (金)	参加者事前説明会 －パスポート等の取得手続きを参加者自身で実施
		25 (火)	壮行会実施 －参加者間の相互交流を実施
	11	5 (土)	研修開始 －米国ロサンゼルスにて実施
		13 (日)	※研修期間中にグループ毎にプレゼン作成 研修終了 －帰国
11	30 (水)	プレゼンテーション報告会	
12	14 (水)	CSAJ 理事会での実施報告	

4. 事前説明会

1) 実施概要

- 一日時：平成 28 年 10 月 7 日（金）16:00～17:00
- 一場所：CSAJ 会議室

2) 参加者

- 一研修参加者：15 名（9 名欠席）
- 一研修事業者：(株)コスモ・コンピューティングシステム 2 名
- 一前年度参加者：2 名

3) 実施概要

- ・海外研修に関する説明
 - 一研修参加の事前に自身で行う渡米手続きや各種準備に関する説明
- ・全体スケジュール
 - 一研修終了後にプレゼンテーション報告会を行う等のスケジュール説明
- ・前年度参加者コメント
 - 一参加者 2 名による、研修及びプレゼンテーション報告会に関する経験者説明



渡米手続き及び研修説明



説明を聴く参加者



前年度参加者による経験談



前年度参加者による経験談

5. 壮行会

1) 実施概要

- 一日時：平成 26 年 10 月 25 日（火）18:00～20:00
- 一場所：大久保健保会館会議室

2) 参加者

- 一研修参加者 22 名（2 名欠席）
- 一技術委員会：委員 6 名
 - 委員長：田中 啓一（CSAJ 副会長／日本事務器㈱）
 - 委員：山本 祥之（CSAJ 副会長／㈱インテリジェントウェイブ）
 - ：小屋 晋吾（CSAJ 理事／トレンドマイクロ㈱）
 - ：原山 健一（CSAJ 理事／BB ソフトサービ㈱）
 - ：小瀬 充（㈱ラネクシー）
- 一研修参加上席者：6 名
- 一オブザーバ：4 名
 - 杉本 淳一（CSAJ 理事／㈱コスモ・コンピューティングシステム）
 - 石戸谷 裕英（㈱コスモ・コンピューティングシステム）
 - 小笠原 乾（㈱コスモ・コンピューティングシステム）
 - 小山 忍（㈱コスモ・コンピューティングシステム）
- 一事務局：1 名
 - 鈴木啓紹（CSAJ 業務課）

3) 実施概要

- ・委員長挨拶：田中委員長（CSAJ 副会長）
- ・海外研修に関する説明
- ・参加者自己紹介：1 名 1 分（名前、所属、担当業務、性格分析）
- ・懇親会
- ・中締め



委員長挨拶



参加者



1分自己紹介



自己紹介風景



懇親会風景



中締め



全体写真<技術委員と研修参加者>

委員長からのご挨拶に始まり、参加者各々が全員の前で自己紹介を行いました。終了後には懇親会を行い研修参加各位同志の交流を深め、技術委員会委員からのアドバイス等を受けつつ出発前の研修者同士の親睦が図られました。

5. 研修

1) 研修概要

一日時：平成 28 年 11 月 5 日(土)～11 月 13 日(日)9 日間

ー場所：ロサンゼルス市内 Torrance Residence Inn

2) 研修実施スケジュール概要

行程	研修項目／場所	内容
11 月 5 日 DAY1	ロサンゼルス到着 研修施設入 オリエンテーション	自己紹介、日程・宿泊・食事・外出などの説明、 携帯電話貸与、質疑応答など
11 月 6 日 DAY2 終日研修	英語グループレッスン	Greeting, Self-introduction, Getting Acquainted
	アメリカ先進技術講義	InterBusiness Corporation 社 Noguchi 氏 ICT, IoT, IT ビジネス講義 IT 分野における国際ビジネスやコンサルティング の経験を持つ講師による世界におけるアメリカ、日 本の Fintech、ブロックチェーン、AI、Docker など の現状についての講義
11 月 7 日 DAY3 終日研修	英語グループレッスン	屋内授業①
	英語ハンズオンラーニング DEL AMO FASHION CENTER	屋外活動 各グループに分かれて、講師と屋外に出て課外活動
	英語グループレッスン	屋内授業②
11 月 8 日 DAY4 終日研修	企業訪問①	訪問先：FUJITUSU GLOVIA INC. 社内見学、現地エンジニアとの技術・意見交換など (2 グループ 2 セッション)
	企業見学	Yahoo, YouTube, Microsoft など
	企業訪問②	訪問先：Google Venies 内部エンジニアによる働き方の説明、意見交換。企業 内でのエンジニアの WorkStyle 見学など
	Coworking Space 見学	Next Space 創業を目指すエンジニアとの意見交換
11 月 9 日 DAY5 終日研修	グローバル講義	JETRO スタッフによる日本政府/JETRO グローバル化 について
	アメリカ先進技術講義	AuriQ 社 Colin 氏 BigDATA 解析を専門とする研究者による解析・活用 についての先進技術講義
	アメリカ先進技術講義	UI/UX Developer・Product Designer/Jordan 氏 スマートデバイスの UI/UX 設計・開発を専門とする Jordan 氏によるアメリカでの開発手法やフィロソフ ーについての講義

	英語ハンズオンラーニング	屋外活動 UCLA (University of California, Los Angeles) キャンパス内で各グループに分かれて、課外活動
	UCLA キャンパスツアー	UCLA 内見学
11月10日 DAY6	自由行動	
11月11日 DAY7 終日研修	USC IT 技術講義 NASA JPL	講師：NASA JPL Takahashi 氏 NASA ジェット推進研究所 (Jet Propulsion Laboratory) に勤務するエンジニアによる宇宙探査機の自動化技術、NASA における IT 技術についての講義
	グローバルビジネス	異文化コミュニケーション/グローバルビジネス講義：元 Unisys 社 Yamaguchi 英語講義含め、外国人エンジニアと仕事をするために必要なことや、グローバルエンジニアになるために必要なものなどを講義
	英語ハンズオンラーニング California Science Center, Natural History Museum NASA	屋外活動 宇宙についてアメリカにおける航空宇宙産業、歴史などをテーマにグループレッスンを実施
	成果報告会	成果発表・報告会
11月12日 DAY8	ロサンゼルス出国	
11月13日 DAY9	帰国	

3) 研修風景



Day2 英語グループレッスン



Day2 英語レッスン



Day2 ICT, IoT, IT ビジネス講義
InterBusiness Corporation 社 Noguchi



Day3



Day3



Day4

企業訪問
FUJITSU GLOVIA, INC.



Day4

Coworking Space 見学



Day4

企業訪問
YouTube 見学



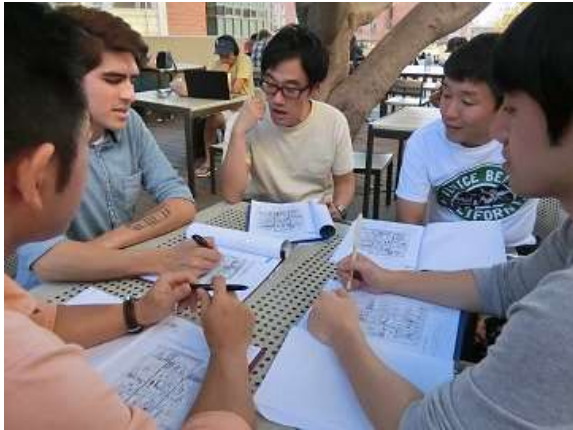
Day5

Big DATA 解析 AuriQ 社



Day5

UI/UX Developer/Jordan



Day5 UCLA 英語レッスン



Day5 UCLA キャンパスツアー



Day7 USC IT 技術講義
NASA JPL Ono/Takahashi



Day7 異文化コミュニケーション/
グローバルビジネス講義
元 Unisys 社 Yamaguchi



Day7 California Science Center,
Natural History Museum NASA,



DAY7 報告会



Day8

参加者一同

米国ロサンゼルスでの英語生活を経験し、コミュニケーションスキルの座学／実践トレーニングだけでなく米国における IT 最新動向の技術講義等を受講した。また、NASA に勤務する日本人からの技術講義を受ける機会を得るなど様々な体験が行われた。

5.プレゼンテーション報告会

1) 実施概要

一日時：2016年11月30日（水）15：00～17：00

一場所：市ヶ谷健保会館会議室

研修時に決まったグループ別の実施チーム（6チーム：@4～5名）を単位にチームプレゼンテーションを実施した。各チームともタイムキーパ／投影資料作成／プレゼンター等の役割分担を行い、研修で学んだ事を、英語を交えたプレゼンテーションで CSAJ 技術委員会の委員等の経営層クラス、自社の上司クラス、第1期／第2期研修参加者の聴講者を前に発表を行った。

聴講側と発表側の活発な質疑応答が進められ、アンケートによる評価報告がなされた。

2) 進行表

- ・技術委員長挨拶
- ・海外研修企画の概要説明
- ・参加者6チーム（全24名）によるチームプレゼンテーション（1チーム15min）
以下、プレゼンテーション構成
 - －参加者（チーム）紹介
自己紹介の実施。
 - －各日の研修内容／研修生活で学んだ事(英語プレゼン含)
スケジュールに沿った自由説明。英語でのプレゼン箇所は各チーム自由
 - －今後の目標（英語プレゼン）
スライドは日本語、プレゼンは英語で実施。
 - －聴講者との質疑応答（2～3min）
- ・プレゼンテーション順
チームA → チームD → チームC → チームE → チームF → チームB

3) 聴講参加者：28名

- ・技術委員会：5名
委員長：田中啓一 委員：山本祥之、小屋晋吾、原山健一、小瀬充
- ・オブザーバ：13名
岡田智義、佐々木雅章、香月蔵人、井関司、高田寿久、塩飽敏章、菅澤馨、河村晋弥、小杉靖、井潟博彦、大城徳夫、小笠原乾、小山忍
- ・第1期研修参加者：3名
豊吉隆太、遠藤祐介、張春玲
- ・第2期研修参加者：4名
河村誠、田村英明、深谷友紀、神谷亜佑美
- ・事務局：3名
専務理事：笹岡賢二郎、事務局長：原洋一
戸島拓生（鈴木啓紹）



田中委員長挨拶



聴講風景

4) プレゼンター（研修チーム）

◆グループ A

原 健太 / 株式会社ネクストスケープ

佃 勇平 / 株式会社インテリジェント ウェイブ

三宮 泰 / 株式会社タイムインターメディア

鈴木茉莉奈 / 日本事務器株式会社



◆グループ B

高 健 / 株式会社フォーラムエイト

川岡 晃 / 株式会社インテリジェント ウェイブ

村上慈朗 / 株式会社アルゴグラフィックス

阿部直幸 / ジェイエムテクノロジー株式会社



◆グループ C

- 野原 武志 / ジェイエムテクノロジー株式会社
- 飯塚 恭弘 / 株式会社コスモ・コンピューティングシステム
- 藤田かおり / 日本事務器株式会社
- 山形 陽平 / 株式会社インテリジェント ウェイブ
- 岡 新悟 / 株式会社フォーラムエイト



◆グループ D

- 小針 貴大 / 株式会社インテリジェント ウェイブ
- 松田 真 / 株式会社ミクロスソフトウエア
- 阿部 哲秀 / 株式会社 CRAVA
- 山中亜由加 / 株式会社大和コンピューター



◆グループ E

安田敬司／日本事務器株式会社

渡邊慎司／株式会社マイクロソフトウェア

河村太一／ジェイエムテクノロジー株式会社

平沢 裕／株式会社アルゴグラフィックス



◆グループ F

峯友 祐介／NJC ソフトウェア株式会社

渋谷 智哉／株式会社フォーラムエイト

佐々木 愛／株式会社 CRAVA

(鈴木啓紹)／CSAJ



5) 懇親会 (コミュニティ活動)

プレゼンター、聴講者による懇親会を行い、参加者エンジニア同士の交流だけでなく、第1期/第2期参加者を含め経営層クラス・各社上司クラスとの交流が図られた。



山本委員乾杯



懇親風景 1



懇親風景 2



懇親風景 3



懇親会風景 4



前回参加者達と



アンケート結果発表



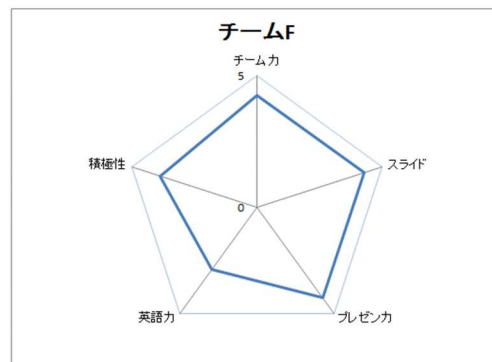
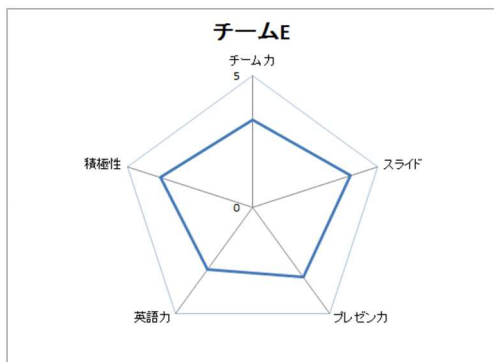
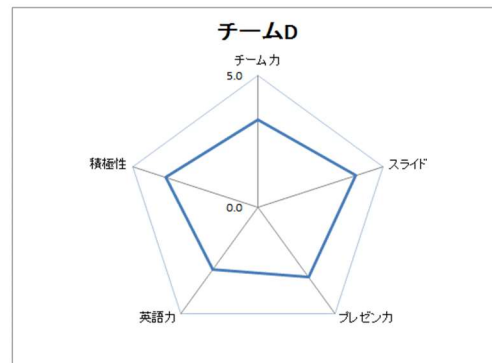
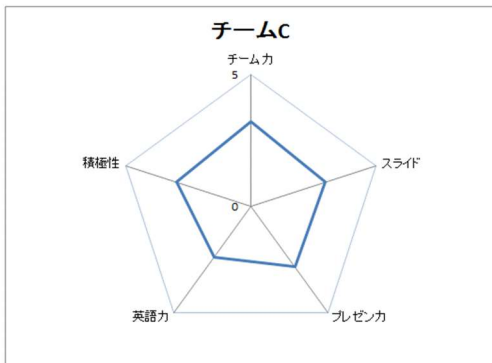
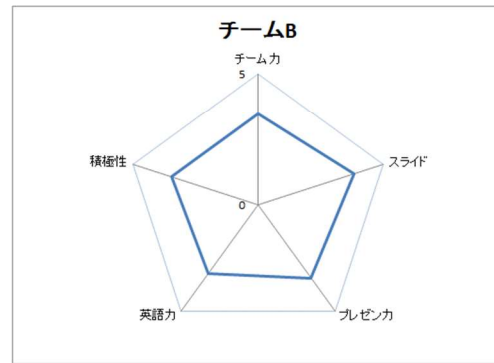
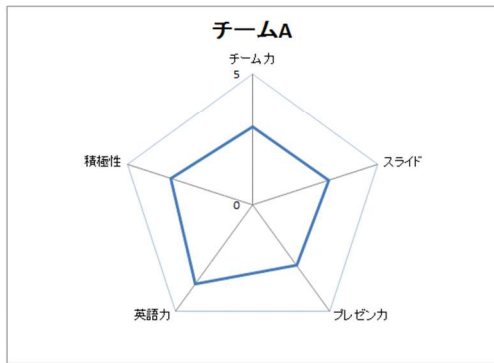
原山委員中締め

6) アンケート結果

プレゼンテーション報告会において、参加者に以下アンケートを実施した結果となります。

■海外研修参加者プレゼン報告会のアンケート評価

チーム名	設問項目	設問1(最高25点)					設問1合計	設問2				設問2合計
		チーム力	スライド	プレゼンカ	英語力	積極性		とても良い	良い	普通	頑張れ	
チームA		3.0	3.0	2.8	3.7	3.3	15.792	0	12	10	2	24
チームB		3.5	3.8	3.4	3.2	3.5	17.375	5	13	6	0	24
チームC		3.2	3.0	2.8	2.4	3.0	14.333	1	8	12	3	24
チームD		3.4	3.3	3.0	3.1	3.4	16.25	0	12	12	0	24
チームE		3.3	3.9	3.3	2.9	3.7	17.083	1	18	5	0	24
チームF		4.3	4.3	4.3	2.9	3.9	19.583	11	13	0	0	24



■アンケート個票

1. プレゼンテーションについて、下記の項目から選択して○で囲んでください。

	チーム力 チームの協力関係などの視点	スライド スライドの見易さや伝わりやすさなどの視点	プレゼン力（巧みさ） 説明手法などをみた場合のプレゼンの巧みさ	英語力 プレゼン内での英語表現についての伝わりやすさ	積極性（意気込み） プレゼンに対する意気込み（積極性）
チーム名	高 ← 評価点 → 低	高 ← 評価点 → 低	高 ← 評価点 → 低	高 ← 評価点 → 低	高 ← 評価点 → 低
チーム○	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1

2. 以下の設問の選択肢に☑をいれてください。

総合評価	チーム○	<input type="checkbox"/> とても良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 頑張れ			
		感想/指摘			

6.その他

○厚生労働省「平成 28 年度 キャリア形成促進助成金」の利用

・制度概要

職業訓練などを実施する事業主等に対して訓練経費や訓練中の賃金を助成し、労働者のキャリア形成を効果的に促進。

※ 事業主にあつては、事業内職業能力開発計画・年間職業能力開発計画を作成するとともに、職業能力開発推進者を選任することが必要

※ 事業主団体等にあつては、訓練実施計画を作成することが必要

※ 重点訓練コース 1 コースあたり 30 時間以上の訓練が対象

○事業主向け

		助成内容	助成額
①雇用型訓練コース		中小企業 以外 中小企業 事業主団 体等	経費助成 ・特定分野認定実 習併用職業訓練 → 2/3 (1/2) ・認定実習併用職 業訓練 及び 中高年齢者雇用型 訓練 → 1/2 (1/3) 賃金助成：800 (400) 円 OJT 実施助成：700 (400) 円
②重点訓練コース	①若年人材育成訓練	中小企業 以外 中小企業	採用後 5 年以内で、35 歳未満の若年労働者への訓練
	②熟年技能育成・承継訓練		熟練技能者の指導力強化、技能承継のための訓練、認定職業訓練
	③成長分野等・グローバル人材育成訓練		成長分野や、海外関連業務に従事する人材育成のための訓練
	④中長期的キャリア形成訓練		厚生労働大臣が専門実践教育訓練として指定した講座
	⑤育休中・復職後等人材育成訓練		育児休業中・復職後・再就職後の能力アップのための訓練
			経費助成：1/2 (1/3) 【2/3 (1/2) ※】 賃金助成：800 (400) 円 ※育休中等に係る訓練の場合
③一般型訓練コース		中小企業	一般企業型訓練 経費助成：1/3 賃金助成：400 円 一般団体型訓練 経費助成：1/2 【2/3※】 ※育休中等に係る訓練の場合
④制度導入コース		中小企業 以外 中小企業	教育訓練・職業能力評価制度 セルフ・キャリアドック制度 技能検定合格報奨金制度 教育訓練休暇等制度 社内検定制度 事業主団体助成 50 万円 (25 万円) 事業主団体助成の場合 2/3

※海外の大学院、大学、教育訓練施設などで実施する訓練（グローバル人材育成訓練）に対しては、経費助成のみ行います（賃金助成はありません）。

■受講数の制限（雇用型訓練コース・重点訓練コース・一般型訓練コース）

助成対象となる訓練等の受講回数は、1人当たり1年度※3回まで。

■1事業所・1事業主団体等の支給額

雇用型訓練コース・重点訓練コース・一般型訓練コース

- ・1事業所が1年度※1に受給できる助成額は、最大で500万円※2
（認定職業訓練、雇用型訓練コースの場合または含まれる場合は、1,000万円）
- ・1事業主団体等が1年度に受給できる助成額は500万円

※1 支給申請日を基準とし、4月1日から翌年3月31日まで

※2 各コースの助成額を合計した上限額です。1事業主が単独で申請したうえで共同事業主として申請する場合も500万円が限度。また、制度導入コース分の支給額は当該上限には考慮しない。

<成長分野等・グローバル人材育成訓練の解説>

成長分野や海外関連業に十位する人材育成のための訓練。

※海外事業拠点での事業展開、海外への販路開拓、販売網の拡大、輸出、海外の企業との提携・合併などの海外事業を実施するに当たって生じる、① 海外生産・事業拠点における管理業務、② 海外市場調査、③ 提携、販売などの契約業務④ 国際法務など海外事業に関連した業務を指す。

訓練対象者	雇用保険の被保険者
基本要件	<ul style="list-style-type: none"> ●Off-JTにより実施される訓練であること （事業主自ら企画・実施する訓練、または教育訓練機関が実施する訓練） ●実訓練時間が30時間以上であること ●海外関連の業務を行っている（計画を含む）事業主が、労働者に対して実施する海外関連の業務に関連する訓練であること
実施訓練例	<ul style="list-style-type: none"> ●語学力・コミュニケーション能力向上のための講座などの受講 ●リーダーシップ、文化理解などグローバルな行動特性を養成するための講座などの受講 ●国際法務、国際契約、海外マーケティング、地域事情に関する講座などの受講

○利用実績

- ・本研修講座は上記の助成金適用対象として構成し、参加企業による個別対応で申請を行った。
- ・個別対応の申請に際しては個別サポートを実施した。
- ・利用企業：8社